

「内視鏡的逆行性胆道膵管造影法関連手技における穿孔例に関する後向き研究」について ご協力のお願い

湘南鎌倉総合病院・消化器病センターでは、内視鏡的逆行性胆道膵管造影法による検査を受けた患者様のカルテから診療データ収集を行い、偶発症である消化管穿孔の有無とその特徴及び効果的な対応に関する検討を目的に研究を行っています。本研究の結果は、専門の学会や学術雑誌に公表することがあります。なお、本研究では氏名などの個人情報個人が特定できないデータに変換した後に収集いたしますので、個人情報が公表されることは一切ありません。

また、本研究は下記の診療データを収集して行いますので、本研究のために新たな検査等が発生することはありません。

本研究に該当する患者さまもしくは患者さまの代理人の方で、診療データの使用を希望されない方は、下記研究責任者へお申し出下さい。その場合、データ収集は一切致しません。その後、不利益な対応を受けることはありません。

研究に関する資料を入手又は閲覧を希望される場合は下記研究責任者へお申し出ください。

【使用する診療データ】

年齢、性別、病歴情報（診断名、合併の既往、薬剤等）、血液検査値、画像所見、内視鏡等手技に関する情報、後治療等

【対象期間と該当患者様】

2013年4月1日～2025年11月30日の期間に消化器病センターにおいて内視鏡的逆行性胆道膵管造影法による検査を受けた全ての患者さま

【研究期間】

当院院長承認後から 2026年12月31日まで

【登録を希望されない場合、お問い合わせ、ご苦情等の連絡先】

湘南鎌倉総合病院 消化器病センター

研究責任者 小泉 一也

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話：0467-46-1717、FAX：0467-45-0190

(2017年2月2日作成)

(2018年7月18日改訂)

(2022年6月22日下線部修正)